

平成 29 年度 経営発達支援計画

経済動向調査レポート

【概要版】

平成 29 年 3 月～平成 29 年 5 月

---

# I. 現在の景気動向についての傾向

## <総括>

- ・全国的な小規模企業における景気動向は緩やかな回復の傾向。
- ・新潟県内において、一部業種では景気の改善傾向が見られるものの、一部業種においては依然として停滞傾向が継続。
- ・新発田市および紫雲寺地域の世帯数・人口数は平成29年1月から4月にかけて継続した減少傾向にある。
- ・新発田市内の企業の景気動向（平成29年1～3月期）としては、全業種において採算・業況で悪化割合が減っており改善には至っていない。

## 1. 全国的な経済動向について

### ■小規模企業の景気動向（平成29年2月～3月）

#### 「2月、3月では景気動向に緩やかな回復の兆し」

産業全体における平成29年度2月～3月の景気動向としては、緩やかな回復の兆しが見えるも、資金需要は低迷している傾向。項目別として項目別では、「売上額DI」と「採算DI」が小幅改善、資金繰りDIはわずかな改善に留まった。業種別における「売上額」では、製造業、小売業、サービス業においては緩やかに改善したが、建築業は僅かな悪化となり、業種間での差が見受けられた。

#### 小規模企業における景気動向全国 単位ポイントDI値\*

業種	産業全体			製造業			建設業		
	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比
売上額	▲19.9	▲16.9	3.0	▲15.1	▲8.4	6.7	▲7.2	▲11.1	▲3.9
採算	▲21.2	▲18.8	2.4	▲16.3	▲16.6	▲0.1	▲19.8	▲20.1	▲0.3
資金繰り	▲16.3	▲15.4	0.9	▲11.9	▲13.8	▲1.9	▲16.1	▲15.9	0.2
業況	▲20.6	▲20.2	0.4	▲16.4	▲15.0	1.4	▲14.5	▲15.4	▲0.9

業種	小売業			サービス業		
	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比
売上額	▲34.2	▲28.7	5.5	▲23.0	▲19.6	3.4
採算	▲29.8	▲23.3	6.5	▲19.0	▲15.4	3.6
資金繰り	▲22.3	▲19.0	3.3	▲14.7	▲12.8	1.9
業況	▲30.6	▲29.9	0.7	▲21.0	▲20.3	0.7

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

全国商工会連合会 企業環境部編纂

(参照元：全国商工会連合会小規模企業景気動向調査)

\*DI 値…Diffusion Index の略で、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値のこと。企業の景況感を示す業況判断指数として用いられ、プラスに転じるほど「景況感が良い」と捉えることができる。

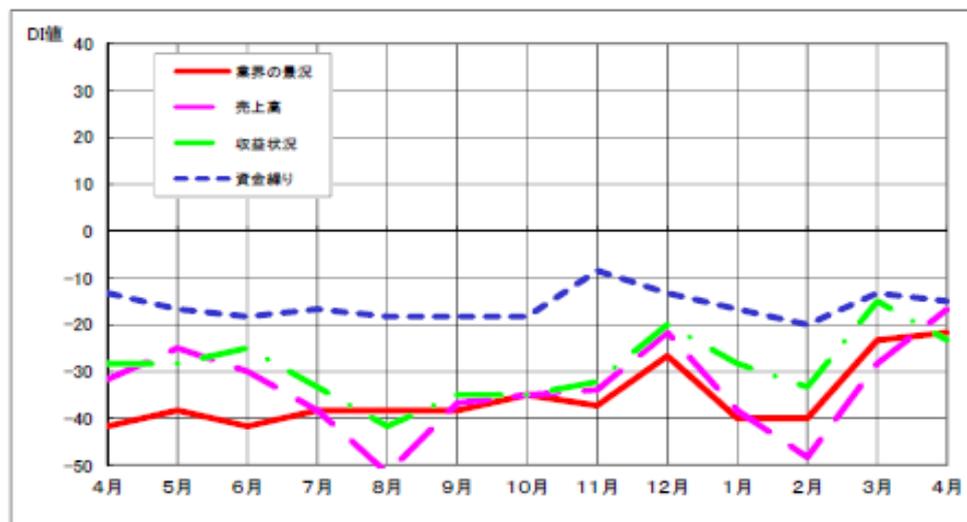
## 2. 新潟県内の経済動向について

### ■新潟県内企業における景況感（平成28年4月～平成29年4月）

#### 「業界の景況」、「売上高」にて前年同月比で改善傾向を示す

新潟県内企業における景況感として、2項目改善、2項目悪化であった。項目別としては「業界の景況」、「売上高」がそれぞれ改善。「収益状況」、「資金繰り」はそれぞれ悪化した。前年同月比でみると3項目で改善、1項目で悪化であった。「業界の景況」、「売上高」、「収益状況」はそれぞれ改善、「資金繰り」は悪化であった。先行きの不透明感が感じられ、景気回復の実感はなく、先行きの不透明感もあることから、今後の推移に留意する必要がある。

新潟県内企業における景況動向全国 単位ポイント DI 値\*



	H28				H29								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
業界の景況	-41.7	-38.3	-41.7	-38.3	-38.3	-38.3	-35.0	-37.3	-26.7	-40.0	-40.0	-23.3	-21.7
売上高	-31.7	-25.0	-30.0	-38.3	-51.7	-36.7	-35.0	-33.9	-21.7	-38.3	-48.3	-28.3	-16.7
収益状況	-28.3	-28.3	-25.0	-33.3	-41.7	-35.0	-35.0	-32.2	-20.0	-28.3	-33.3	-15.0	-23.3
資金繰り	-13.3	-16.7	-18.3	-16.7	-18.3	-18.3	-18.3	-8.5	-13.3	-16.7	-20.0	-13.3	-15.0

(参照元 ; 新潟県中小企業団体中央会)

### 3. 新発田市の経済環境について

<新発田市人口推移（平成29年1月、2月、3月、4月）>

	世帯数	男	女	人口数合計	増減数
平成29年1月	36,122	48,223	51,390	99,613	—
平成29年2月	36,116	48,205	51,344	99,549	▲64
平成29年3月	36,102	48,100	51,231	99,331	▲218
平成29年4月	36,237	48,096	51,183	99,279	▲52

(参照元：新発田市)

<紫雲寺地区人口推移（平成29年1月末、2月末、3月末、4月末）>

紫雲寺地区合計			
世帯数	基準	数	増減
	平成29年1月末	2,229	—
	平成29年2月末	2,227	▲2
	平成29年3月末	2,228	+1
	平成29年4月末	2,225	▲3
人口合計	基準	数	増減
	平成29年1月末	7,283	—
	平成29年2月末	7,281	▲2
	平成29年3月末	7,261	▲20
	平成29年4月末	7,251	▲10

(参照元：新発田市)

新発田市において、世帯数は増加傾向にあるものの、人口減少が続いている。平成29年4月末現在の新発田市人口は、99,279人であり、平成29年1月から人口減少の傾向にある。

紫雲寺地区の人口推移としては、平成29年1月から4月において世帯数は減少傾向。また、同期間における人口においても減少の傾向にあり、継続的な減少推移となっている。

## 4. 新発田市における企業の景況感

<新発田市の企業における業種別景気動向 単位：ポイント（DI値\*）>

景況調査 平成29年1月～3月期 新発田商工会議所

来期の見通し(H29年4月～6月)

製造業	前年同期比(H28年1月～3月)					前期比(H28年10月～12月)					前年同期(H28年4月～6月)と比べ							
売上額	増加	25.00%	不変	37.50%	減少	37.50%	増加	12.50%	不変	37.5%	減少	50.00%	増加	50.00%	不変	37.50%	減少	12.50%
資金繰り	好転	0.00%	不変	100.00%	悪化	0.00%	好転	0.00%	不変	100.0%	悪化	0.00%	好転	0.00%	不変	87.50%	悪化	12.50%
採算(経常利益)	好転	12.50%	不変	50.00%	悪化	37.50%	好転	-	不変	-	悪化	-	好転	12.50%	不変	75.00%	悪化	12.50%
従業員(常勤パート)	増加	0.00%	不変	87.50%	減少	12.50%	増加	-	不変	-	減少	-	増加	25.00%	不変	62.50%	減少	12.50%
業況(自社)	好転	0.00%	不変	87.50%	悪化	12.50%	好転	0.00%	不変	87.5%	悪化	12.50%	好転	12.50%	不変	87.50%	悪化	0.00%

※前年同期比で採算・業況で悪化割合が減っている。来期見通しは売上が増加と見る企業が増え、明るい兆しが見られるものの、採算・業況の改善には至っていない。

今期直面している経営上の課題→①需要の停滞 ②製品(加工)単価の低下・上昇懸

来期の見通し(H29年4月～6月)

建設業	前年同期比(H28年1月～3月)					前期比(H28年10月～12月)					前年同期(H28年4月～6月)と比べ							
完成工事高	増加	28.57%	不変	28.57%	減少	42.86%	増加	28.57%	不変	28.6%	減少	42.86%	増加	28.57%	不変	42.86%	減少	28.57%
資金繰り	好転	28.57%	不変	57.14%	悪化	14.29%	好転	14.29%	不変	71.4%	悪化	14.29%	好転	0.00%	不変	85.71%	悪化	14.29%
採算(経常利益)	好転	28.57%	不変	42.86%	悪化	28.57%	好転	-	不変	-	悪化	-	好転	14.29%	不変	71.43%	悪化	14.29%
従業員(常勤パート)	増加	0.00%	不変	85.71%	減少	14.29%	増加	-	不変	-	減少	-	増加	0.00%	不変	85.71%	減少	14.29%
業況(自社)	好転	28.57%	不変	42.86%	悪化	28.57%	好転	14.29%	不変	71.4%	悪化	14.29%	好転	14.29%	不変	71.43%	悪化	14.29%

※前年同期比で完成工事高、採算で減少・悪化の割合が増えている。来期見通しは不変割合が高く、採算・業況は堅調に推移している。

今期直面している経営上の課題→①民間需要の停滞 ②官公需要の停滞、大企業の進出による競争の激化

来期の見通し(H29年4月～6月)

卸売業	前年同期比(H28年1月～3月)					前期比(H28年10月～12月)					前年同期(H28年4月～6月)と比べ							
売上額	増加	0.00%	不変	50.00%	減少	50.00%	増加	50.00%	不変	25.0%	減少	25.00%	増加	0.00%	不変	100.00%	減少	0.00%
資金繰り	好転	25.00%	不変	75.00%	悪化	0.00%	好転	25.00%	不変	75.0%	悪化	0.00%	好転	25.00%	不変	75.00%	悪化	0.00%
採算(経常利益)	好転	25.00%	不変	75.00%	悪化	0.00%	好転	-	不変	-	悪化	-	好転	0.00%	不変	100.00%	悪化	0.00%
従業員(常勤パート)	増加	0.00%	不変	100.00%	減少	0.00%	増加	-	不変	-	減少	-	増加	0.00%	不変	100.00%	減少	0.00%
業況(自社)	好転	0.00%	不変	100.00%	悪化	0.00%	好転	0.00%	不変	75.0%	悪化	25.00%	好転	0.00%	不変	100.00%	悪化	0.00%

※前年同期比で売上減少が50%ではあるものの、各項目の減少・悪化が改善されている。来期見通しは売上・採算・業況ともに前年比不変が100%となっている。

今期直面している経営上の課題→①需要の停滞 ②メーカーの進出による競争の激化

来期の見通し(H29年4月～6月)

小売業	前年同期比(H28年1月～3月)					前期比(H28年10月～12月)					前年同期(H28年4月～6月)と比べ							
売上額	増加	20.00%	不変	26.67%	減少	53.33%	増加	20.00%	不変	46.7%	減少	33.33%	増加	13.33%	不変	46.67%	減少	40.00%
資金繰り	好転	0.00%	不変	66.67%	悪化	33.33%	好転	0.00%	不変	73.3%	悪化	26.67%	好転	0.00%	不変	73.33%	悪化	26.67%
採算(経常利益)	好転	6.67%	不変	53.33%	悪化	40.00%	好転	-	不変	-	悪化	-	好転	6.67%	不変	60.00%	悪化	33.33%
従業員(常勤パート)	増加	0.00%	不変	86.67%	減少	13.33%	増加	-	不変	-	減少	-	増加	0.00%	不変	93.33%	減少	6.67%
業況(自社)	好転	0.00%	不変	60.00%	悪化	40.00%	好転	0.00%	不変	66.7%	悪化	33.33%	好転	0.00%	不変	60.00%	悪化	40.00%

※前年同期比で売上増加が20%と増えたものの各項目で悪化・減少の割合が高く、厳しい状況が続いている。来期に向けても業況は不変や悪化と見る企業が多く、全体として厳しい傾向が続いている。

今期直面している経営上の課題→①需要の停滞 ②購買力の他地域への流出、消費者ニーズの変化への対応

(参照元：新発田市商工会議所 中小企業景況調査)

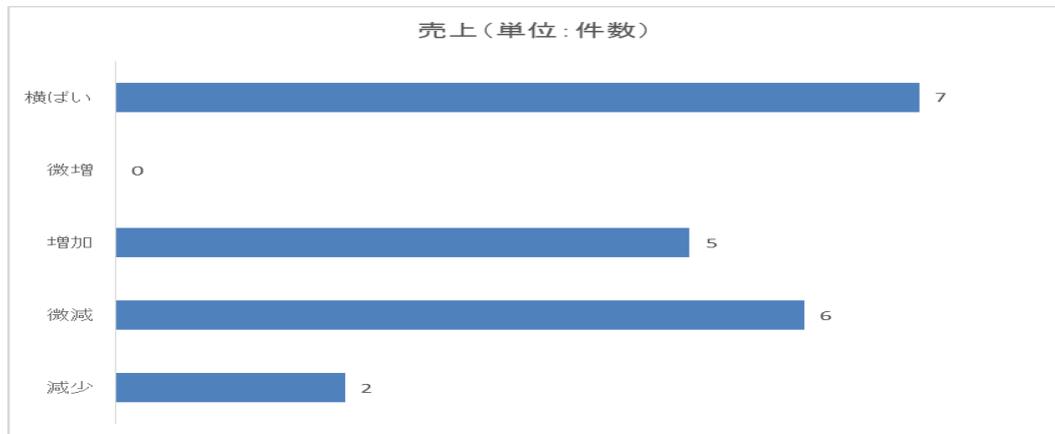
新発田市商工会議所の中小企業景況調査によると、全業種において前年同期比で採算・業況で悪化割合が減っている。来期見通しは売上が増加と見る企業が増え、明るい兆しが見られるものの、採算・業況の改善には至っていない。

卸売業においては前年同期比で売上減少が50%ではあるものの、各項目の減少・悪化が改善されている。小売業においては、前年同期比で売上増加が20%と増えたものの各項目で悪化・減少の割合が高く、厳しい状況が続いている。来期に向けても業況は不変や

悪化と見る企業が多く、全体として厳しい傾向が続いている。サービス業においては、前年同期比で全項目の増加・好転割合が増えている半面、減少悪化割合も増えており企業間での差が出ている。来期見通しは売上減少が増えたものの資金繰り・採算・業況は不変の割合が高い。

## Ⅱ. 紫雲寺地域の企業における景気動向について

### ■現在の景気・業況・売上の推移について

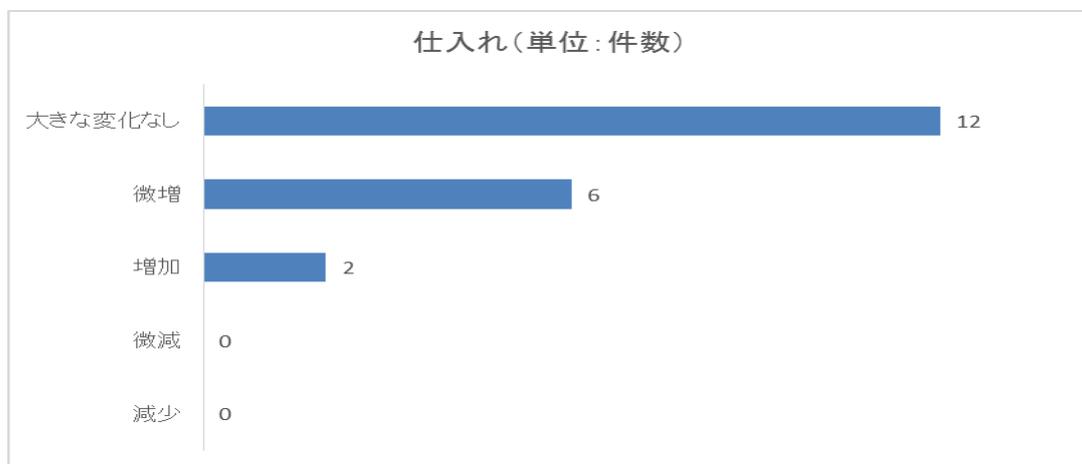


- ・ 昨年同時期と比べた売上の変化として「ほぼ横ばい」が全体の約 35%
- ・ 「売上が増加している」と回答した事業者は全体の約 25%。
- ・ 「売上が減少している」「売上が微減している」と回答した事業者は全体の 40%

現在の景気や業況、昨年同時期と比べた売上の状況について聞いたところ、「ほぼ横ばいで推移している」と全体の約 35%の事業者が回答した。

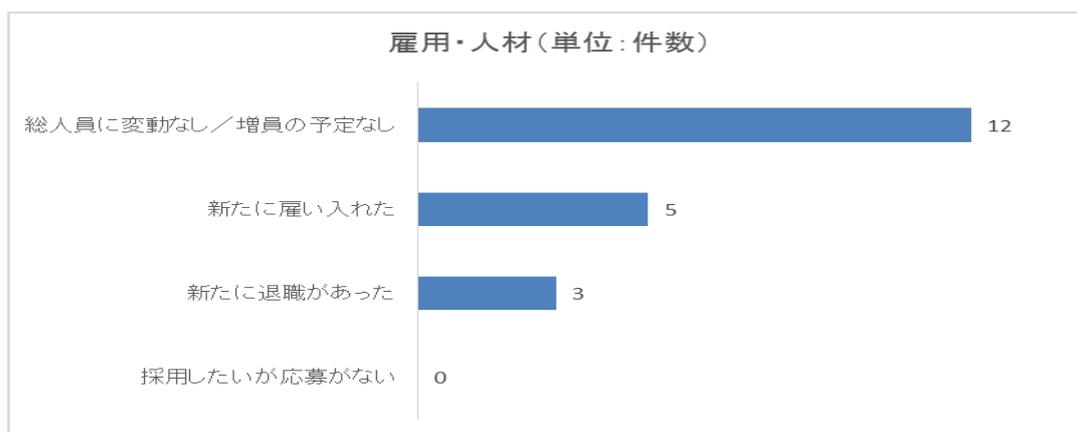
昨年同時期と比べて「売上が増加している」「わずかに売上が増加している」と回答した事業者は全体の約 25%。一方で「売上が減少している」「売上が微減している」と回答した事業者は全体の 40%となっている。売上高の減少要因として多く挙げられたのは、客数(取引先数)の減少によるものが多く占めている。

### ■仕入れ価格の状況について



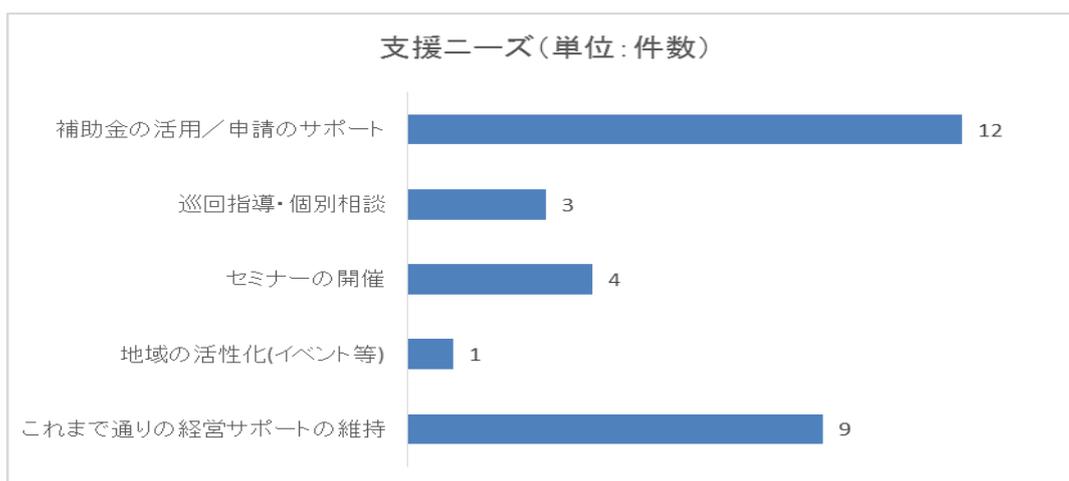
仕入れ価格や費用の状況については総じて「大きな変化がない」という回答が集まったが、「増加」、「微増」と回答した企業は、飲食関連の企業が中心であり、『乳製品等、食材全般の原料高騰による仕入れ増加』という回答が多く寄せられた。

#### ■雇用・人材の状況について



全体の約60%の事業者で「総人員に変動なし/増員の予定なし」との回答が占めた。「新たに雇い入れた」という企業は約25%を占め、パート社員の登用や、ボランティアで手伝いに来ていた人員を正式登用する等が挙げられた。「新たに退職があった」と回答した企業においては、定年退職に伴う減少という回答が占められている。

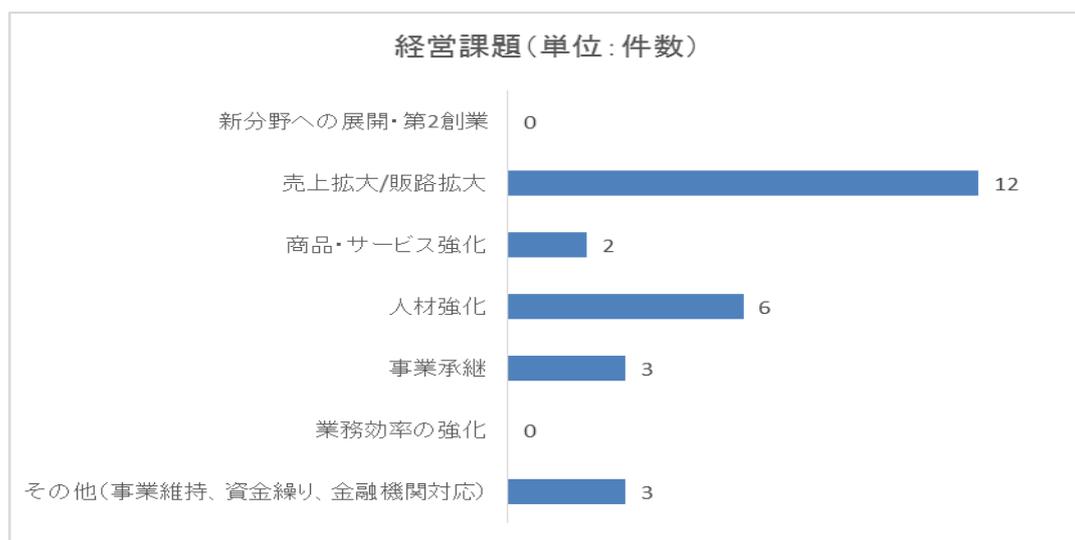
#### ■支援ニーズ



商工会からの支援に関するニーズとしては、これまでの「現状のサポート体制を維持・継続」してほしい旨の回答と同推移で、「補助金の活用/申請のサポート」という要望が全体の約40%を占める回答となっている。

また、商工会からの巡回指導と併せて、「販路拡大に向けた個別での相談対応をお願いしたい」との要望も挙げられており、より具体的なサポートを求めている回答が寄せられた。

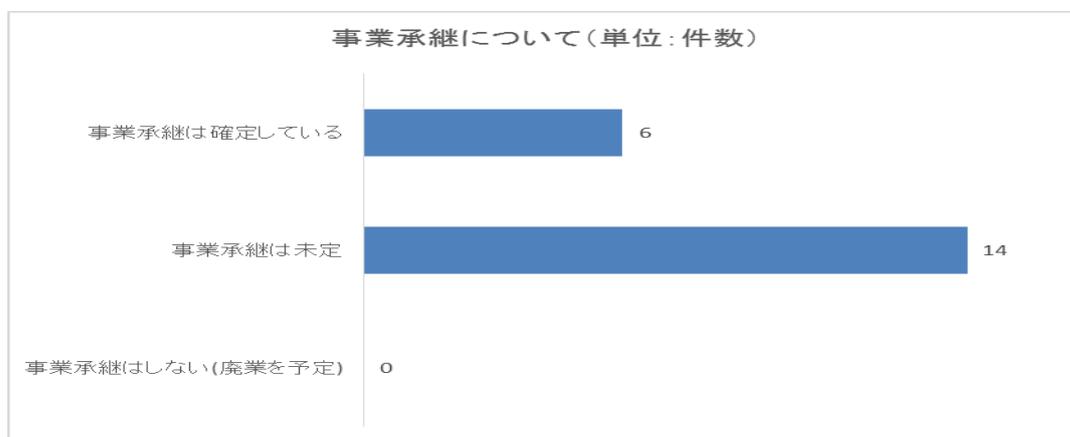
■現在の経営課題について(複数回答あり)



全体の約46%において、「売上拡大/販売経路拡大に向けた経営課題」を抱えている。「人材強化の課題」として、人材の確保も去ることながら、現在の社員・スタッフを対象とした人材育成について課題としている企業も回答の約34%を占めている。

また、「事業承継」と併せて、「資金繰り」に課題を抱えていると回答した企業も見受けられた。特に、資金繰りの安定を図った上で、後継者へ承継したいとの意向が見受けられた。

■事業承継について



事業承継に向けたヒアリングを行った中、既に事業承継を行った、または後継者が確定している企業は約 30%を占める結果となった。

全体の約 70%においては、後継者が未定であったり、事業承継の対象者としているもの  
の実態としては未確定としている企業が回答している。

以上